

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	小学部 99人 中学部 43人 高等部 115人 合計 257人

1. 使用状況

寄贈物品名	電子式ジグザクミシン 10台
使用学年及び人数	高等部1、2年 7人 中学部6人
使用頻度	2回/週 ※作業販売会前には5回/週
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の授業で行われている、作業学習(自主生産作業:縫製班)、週に2回程度使用している。 ・縫製班では、寄贈していただいたミシンを使用して、地域での作業製品販売会に向けて、トートバッグ、巾着袋、コースター、サコッシュなどの製品作りに取り組んだ。今後も地域での作業製品販売会に向けて、製品作りに取り組んでいく。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンを寄贈していただいたことで、ミシン担当の生徒一人につき一台のミシンを使用することができ、責任感を持ってミシンを使用したり、練習の機会が増えたことで技能が向上したりしている。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・より細かなミシン縫いや、ミシンの機能を活用した製品作りに取り組みたい。例えば、布の縫い代の始末やファスナー付け等に取り組みたい。
その他 希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・寄贈していただいた電子式ジグザクミシンの価値や、使用方法を再度伝え、機能を十分に活用して作業学習に取り組みたい。

2. 活用の様子



トートバッグの製作をしています。
足踏みペダルを使用することで、両手でしっかりと布を押さえて縫うことができます。布が重なって厚手になっている部分や返し縫いの部分も真っ直ぐ縫うことができます。

手元が明るく、台の幅が広いので、縫う位置を確認しながら正確に縫うことができます。



【生徒の感想】

電動式ジグザグミシンを使ってみての感想
～製品を作った感想～ このミシンでトートバックやコースターを作って、製品をつくる楽しさを味わった。コネグロもミシンで色々な物を糸通してみたいです。
～これからミシンを使ってやりたいこと、作ってみたい製品～ タオル、サフ、アイソカパンなどを作りたいです。

電動式ジグザグミシンを使ってみての感想
～製品を作った感想～ 色んな製品を作りました。ミシン色使い、いろいろな製品作りに取り組みることができました。これからもいろいろな製品作りに取り組みたいです。
～これからミシンを使ってやりたいこと、作ってみたい製品～ ポーチを作りたいです。

電動式ジグザグミシンを使ってみての感想
～製品を作った感想～ いただいたミシンでトートバックを作りました。とても使いやすいミシンでした。線にそってすいめえるようになります。ありがとうございます。
～これからミシンを使ってやりたいこと、作ってみたい製品～ 給食がくろを作りたいです。

電動式ジグザグミシンを使ってみての感想
～製品を作った感想～ このミシンはあがりやすく、二学期はトートバックやコースター、針山も製作しました。ミシンのトラブルもありませんでした。とても使いやすいミシンだと感じました。
～これからミシンを使ってやりたいこと、作ってみたい製品～ 二辺の製品作りで作りたいもの、内三辺バックを作りたいです。